

幼児の教育 第114巻 第4号 平成27年9月1日発行 ISSN0289-0836

子ども学の源流を次世代につなぐ

# 幼児の教育

[特集] 保育現場で気になるコトバ考

「夢中」って何だ？

[実践研究] 私の保育ノート

保育園の砂 ーある日の去り際にー

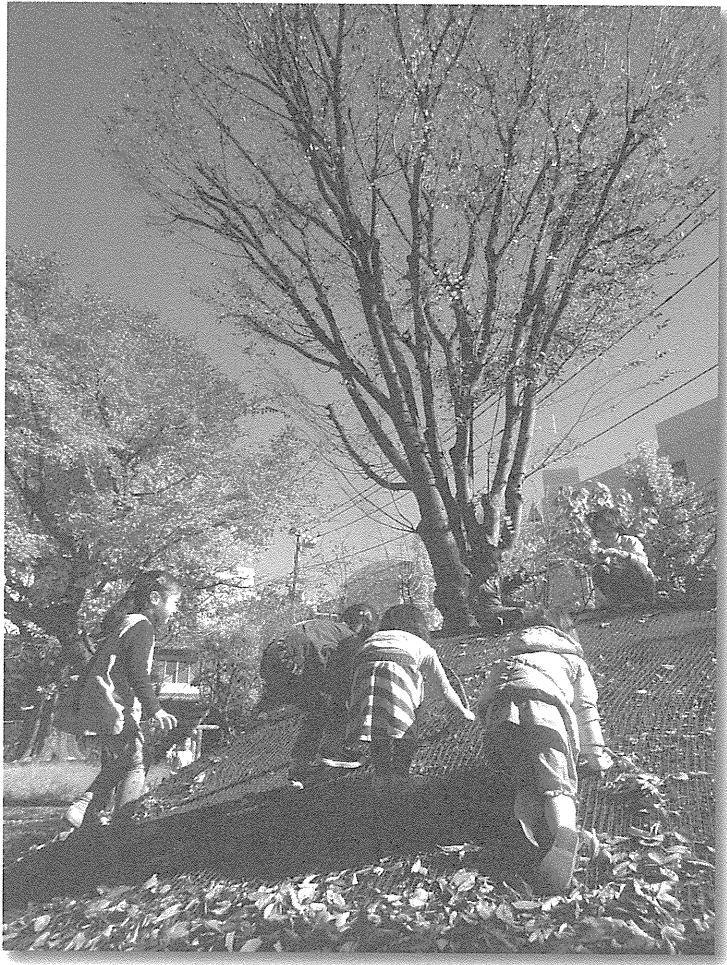
[子ども学探訪] 昔むかしのキンダーブック

子どもと共に見つめる

第114巻 第4号 日本幼稚園協会

秋 2015

since 1901



「よこしょ、こぶしょ  
「あとちよつとだよ」

写真

子どもの情景

1

シリーズ

子どもが育つ場所から  
新園舎で暮らす二つの幼稚園を訪ねて

高橋陽子

夢かうつつか

2

目次

3

実践研究

私の保育ノート

保育園の砂ーある日の去り際にー 西隆太郎

30

特集

育休日誌

母になるということその3 郡司明子

34

保育エッセイ

子どもは豊かな遊びの世界を生きている

33

遊びで育つ「ミュニティケアの心」 河邊貴子

38

保育現場

で気に入る「トバ考」

7

「夢中」って何だ? 4

特集  
view

子どもが夢中で遊ぶ時 星三和子

5

視点

子どもはみんな「夢中」になる 下田浩太郎

9

「夢中」であること—フロー理論の観点から—

谷木龍男

13

木棚  
古典の散歩道

『竹取物語』に学ぶ生死観—『竹取物語』の深層 |

蓮寺俊之

42

「遊び」という過程で夢中になつて遊ぶ日々

野口隆子

19

写真

子どもの情景

1

シリーズ

子どもが育つ場所から  
新園舎で暮らす二つの幼稚園を訪ねて

高橋陽子

24

# 目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある  
ステンドグラスの模様をデザイン化したものです。

子ども学園訪問

## 昔むかしのキンダーブック③

子どもと共に見つめる 灰谷知子

48

## 幼児の教育アーカイブズとの対話②

画像にみる「幼児の生活」(2)  
—園庭で育まれる物語へのまなざし

(昭和七年) — 浜口順子

54

講演

高橋清賀子氏・大戸美也子氏

「幼稚園草創期の保育者に学ぶ  
—初代保姆 豊田英雄の挑戦」(1)

構成／安治陽子

56

子ども学のひろば  
読者投稿・編集後記 他

63

まど

夢かうつつか

夢かうつつか、うつつか夢か。今号の特集「  
ド「夢中」は夢の中と書く。「うつつ（現）を抜か  
す」とは何かに夢中になつて正氣が失われたよう  
になる様子らしい。しかし、子どもが夢中で遊ぶ  
時、間違いなく子どもは「正氣」だ。それどころ  
か、「夢中」で遊ぶ子どもは、「夢」と「うつつ」  
の間を、想像力や好奇心を介して軽やかに往来し、  
世界を両手で探索し、つかわうことのできるよ  
うに見える。  
それに比べて大人は、「うつつ」の世界だけが  
正しいと思い込み、「夢」は一時的で無益なものと  
考えがちである。寝て見る夢もしかり、子どもの  
頃に抱いたヒーローへの憧れもそうだ。  
昭和十六年から六十年間、幼稚園教諭を務めら  
れた堀合文子先生は、「保育者の心と子どもさんの  
心とのぶつかり合つ」である教育の場で、保育者  
が「無」になることが重要である、よく話した  
り書いたらされていった。堀合先生の晩年、ご講演  
を拝聴する機会があり、その折も「あ、また『無』  
のお話だな」と耳を傾けていた。すると先生は何  
か違和感を覚えたか、急に、「むになる」の「む」  
は「夢」のことよ、と言わされた。今も思い出つて  
は、その意味を考えることがある。(工)

## 編集後記

「おやまに、幼虫探しに行こう！」と誘われ、子どもたちと園庭の高台に出掛けました。「確か……この辺にいたはずだ……」と、お目当ての幼虫と出会うため、ひたすら地面を掘り続ける子どもたち。ほとんど会話もなく、それぞれに自分の思う場所を掘り続けているその姿を見ながら、「夢中を生きるこの子たちは、おそらく『夢中』についてなど考えたりしないのだろうな」と、ふと感じました。「ほどほどな夢中」を良しとしようとする保育者の評価的な見方に対する星先生のご指摘（今号特集《view 視野》）にもドキッさせられました。

子どもの頃の、時を忘れ、ひたすら遊んだあの身体の感覚を取り戻し、季節の良いこの時期、何かに夢中になってみようかなと思ったものの、そもそも「夢中」とは、なってみようとしてなるものではないのかもしれません。ひたすら夢中になって遊び、

没頭することそのものを楽しんでいる子どもたちの「今」を、私はどれだけ保障できているかしら？ と自分の保育を改めて振り返る時間となりました。

さて、特集「保育現場で気になるコトバ考」は、次回で8回目を迎えます。保育の中であまり意識せずに使っている言葉の一つ一つを、少し違った角度からとらえ直してみることで、子どもたちとの暮らしを楽しむ新しい道が開かれていくことを指しています。

次回は「行事」についてです。運動会、遠足、学芸会など、秋は行事が盛りだくさん。「楽しいはずの行事に追われて大変！」という声が現場からよく聞こえています。そもそも行事とは何のためにあるのでしょうか。季節の変化をその折々で楽しんできた日本の文化にも思いをはせ、改めて考えてみたいと思っています。（S）

## 次号予告 幼児の教育 冬号 2015年12月刊行予定

新企画、新連載が好評！ 充実した内容でお届けします。

特 集 保育現場で気になるコトバ考 8  
－「行事」って何だ？－ 磯部裕子氏ほか

シ リ ー ズ 子どもが育つ場所から  
京都市立中京もえき幼稚園

コ ー ナ ー 古典の散歩道 第8回 井原成男氏

※タイトル・内容が変更になる場合もあります。

## 幼児の教育 秋号 第114巻 第4号

平成27年10月1日発行

編集発行人／浜口順子

編集担当／田中恭子

発行所／日本幼稚園協会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発 売 所／株式会社フレーベル館

電話：03-5395-6604（編集）

編集委員／伊集院理子

菊地知子

振 替／00190-2-19640

佐藤寛子

印 刷 所／国書印刷株式会社

灰谷知子

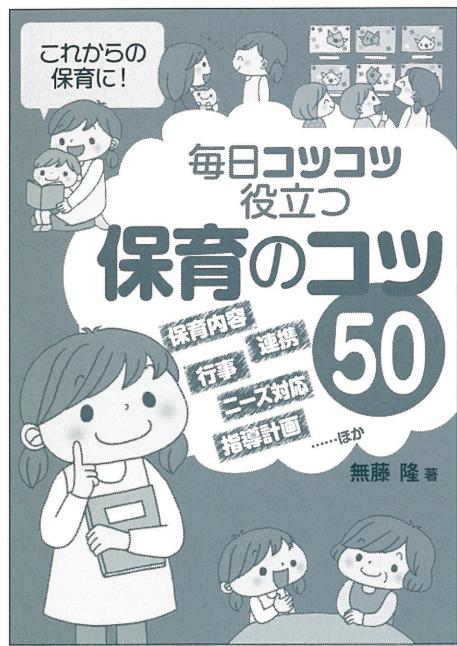
定 価／本体834円+税

編集協力／フレーベル館

©日本幼稚園協会 2015 Printed in Japan

●ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613（営業）●





109-50

## これからの保育に！ 毎日コツコツ役立つ

# 保育のコツ 50

「保育内容」「連携」「行事」「ニーズ対応」「指導計画」等々、現場に必須のテーマを取り上げ、基本的な考え方、実施の仕方などのコツをまとめました。新制度を迎える、これからの保育を考える際にぜひ！

無藤 隆／著 21×15cm 120ページ 定価本体1,380円+税  
ISBN978-4-577-81387-4

**コツを  
ぎゅっと  
凝縮した  
キーワード**

**基本的な  
考え方・  
実践のコツ**

### 身体運動の進め方

園でこども運動できる環境を整えて  
体を動かすことが好きにならようになります。

#### 全身

手や足だけに限らず、全体を動かします。

#### エネルギー

その年齢にふさわしい運動量をどの子どもにも確保します。

#### 部位

筋肉を中心柔軟に回転し動かすようにします。

#### 環境

いろいろな運動を誘発する道具や設定や施設を提供します。

#### 毎日

毎日、子どもが体を動かすこと楽しめるようにします。

**[解説]**  
最近は運動不足の子どもが多く、それが運動嫌いや運動が不得意。将来の成人病などになります。その運動量を極めて固定が大きくて、よく運動する子どももいれば、ほとんどしていない子どももいます。園での子どものも運動する機会を増やし、習慣づける必要があります。「年に一度の運動会などは運動の楽しさを知ることです。安心して園舎内に楽しんで体を動かすことを」と、それを心から思って、しっかりと運動することで、子どもたちが運動することができるのです。＊＊＊運動はより多くの快樂をもたらすことはなく、両手を動かすことでつながり立てることがあります。同じ歩きをして、ますます全力で歩きのリズムが高まるのも必ずです。道具や器具を使うと、運動の幅が広がります。＊＊＊のスケープが上手になるより、体のどの部位も自然に動くようになることが肝心です。それは様々な遊びや生活のなかで自然と体を動かすことから育ちます。

8

コツを詳しく解説

おなじみの新人保育者の日記  
遊びのなかで“いろいろな動きを経験”

保護者から「この園は体操教室の先生が来て運動する時間がないけれど、運動量が足りないのででは？」とされました。（そりいえばうちの園は、体操教室などがないわけね……）。私も一身上心配になり、先輩に聞いてみるとこんなふうに言われます。

よく見ます！ 床面の筋肉を發揮したりしているでしょう？ 重いことをしました？……、体操教室の先生がいるといいとは言えないのではないかしかし、待ち時間が多いより、それ

そう言われて子どもたちの動きを様々な動きをしています。保育者はかけを意識すればいいのですね！

日常生活の中であがちな出来事を新人保育者の日記風に紹介。  
コツを理解するヒントに。



第1章 保育内容 健康 9



子どもがもらつて  
すぐに使える字典

はじめてつかう

# 漢字字典

小学校6年間で学ぶ漢字を学年別に示しました。子どもの生活や学習に必要で、よく親しまれていることばを選んで作られた字典です。絵を見ただけで漢字の意味と形と読み方がわかる「絵場面」など、新しい工夫も充実！ 全ての漢字にふりがな付き。

商品コード 303-50 定価 税込 1,000 円（本体 926 円+税 8%）

村石昭三／監修 首藤久義／編著 坂崎千春・井上雪子／イラスト

浅葉克己／古代字 祖父江慎／デザイン

セット内容 本体1 ビニールカバー付き 規格 22×15 cm 400ページ

ISBN 978-4-557-81372-0



## POINT1

1年生や幼児でも引くことができる

巻頭に、読みや画数、部首がわからなくても、絵から漢字を引くことができる絵場面索引付き。自分で字典を引く自信ができます。絵場面索引は、1、2年生で習う全ての漢字を取り上げ、漢字の意味やはたらきに応じて、漢字同士の関係がわかるようになっています。



漢字の横にある数字のページを  
引くて、「色」という漢字を調べ  
ることができますよ。



絵場面索引は、ほかの字典にはない  
この字典だけの大きな特長です。

## POINT2

部首索引にもひと工夫



部首索引を工夫し、引くときのイライラを少なくしました（部首・部品索引）。

例えば「思」「安」は…。



本来の部首である「田」  
から引くことができます。



部首ではない「心」から  
でも引くことができます。



本来の部首である「宀」  
から引くことができます。



部首ではない「女」から  
でも引くことができます。

\*全ての部品が引けるわけではありません。よく目立つ、代表的な部品を厳選して索引にしました。



109-49

# 子どもがひとり笑つたら…

小西貴士先生の写真集第三弾。森の自然のなかで繰り広げられる、子どもと大人のとっても素敵な関係を写真集にしました！子育て中のパパやママにもおすすめの1冊です。

小西貴士／写真・ことば 24×18 cm 72 ページ  
定価本体 1,600 円十税 ISBN978-4-577-81386-7

## ●好評発売中●

子どもと森へ  
出かけてみれば



109-20

今、注目の「森のようちえん」。八ヶ岳山麓の大自然で生き生きと育つ子どもたちの写真にやさしい言葉を添えたとておきの1冊。

小西貴士／写真・ことば 24×18 cm 76 ページ  
定価本体 1,500 円十税 ISBN978-4-577-81292-1

子どもは子どもを  
生きています



109-41

子どもたちが子どもである今を生きている姿を鮮やかに切り取った写真とことば集。今を精一杯生きている子どもと大人へ心を込めて贈ります。

小西貴士／写真・ことば 24×18 cm 76 ページ  
定価本体 1,600 円十税 ISBN978-4-577-81352-2